



協会レビュー 2020 年第 1 号

協会での取り組み

来年度の再開にご期待ください！

「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」今年の開催は見送ります！

協会では、国土交通省で都市計画行政を担う担当者と実務者である民間コンサルタントが胸襟を開いて交流できる機会として、「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」を平成 20 年から開催しており、毎回、参加者からは好評の意見をいただいております。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催は見送りとなりました。本号では、昨年度の交流会に参加された皆様の感想をご紹介します。(編集チーム 津端)



以下は、事務局を務められた辻隆治様（まちづくり技術者交流部会部会長、(株)サンワコン）にとりまとめいただきました。

令和元年度の開催状況とこれまでの経過

「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」では、毎回、都市計画に係る様々な問題・課題やそれらに対する今後の展望、実務面での上手い対処法等について意見交換し、時には少し脱線もしながら、有益な情報を共有してきました。

昨年度は、参加者の皆さんが 3 回ではもの足りないと感じ、3 回目（最終回）が終わってから打ち上げの場（任意）で意見交換を続けました。最近は、いろいろなところでマニュアル化が進むなど、議論することが少なくなっているためでしょうか、皆さん、熱く、そして楽しそうにまちづくり・都市計画について語り合っていました。その勢いで 2 月頃には 4 回目（これも任意）も・・・という予定でしたが、さすがにコロナウィルスの影響で実現しませんでした。

参加者の皆さんの一言感想

以下に、昨年度の参加者の皆さんから一言感想を集めてみました。参考にいただき、来年度以降、より多くの方々からの応募があればと願う今日この頃です。掲載の順番は、参加者の氏



名の五十音順です。

■未来を見据えて、より柔軟な発想で新たなまちづくりを進めていきたい

人が減り、人がまちに出かけなくなる中で、どのようにまちづくりを進めていくべきか、コンサルタントだけではなく国土交通省の方を交えて、幅広い視点で、方法論から思いまで意見交換ができ、新たな気づきがあった大変充実した場でした。

今回感じたことや吸収したことを十分活かし、想像力をフルに働かせ、明るい未来に向けたまちづくりを提案していきたいと思います。また、今回築くことができた、皆さまとのつながりを大切にしていきたいと思います。今後ともよろしく申し上げます。

中央コンサルタンツ株式会社 浅野 貴久

■現場の価値観で率直に意見交換ができるいい機会でした

私は、これまで他社の方とこのような形で意見交換するような機会がなかったため、同業者の現場の価値観で皆様と意見交換ができたことが、大変刺激になりました。また、普段は発注者・委託者の関係である国土交通省の皆様とも、都市計画について、普段の業務の中ではなかなか意見交換ができない部分について、本音で様々な意見交換ができたのかなと思います。私は、このような意見交換を今まで参加したことがなかったため、とても貴重な体験となりました。このような機会を作っていただいた、都市計画コンサルタント協会の皆様に感謝を申し上げますととも、今後ともよろしくお願ひいたします。

株式会社オオバ 遠藤 大輔

初めて交流会に参加させていただきましたが、都市計画等に関して、国交省をはじめとする省庁の皆様、各社技術者の皆様と仕事をはじめ、働き方等についての意見交換や情報共有させていただくことは、大変有意義で勉強になりました。また、懇親会では色々な地域の事例など、仕事を超えた話もお伺いするなど、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。こうした交流会は是非とも継続していただきますと、大変ありがたく思います。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

国際航業株式会社 大畑 有加

普段は、海外事業に従事しているため、国内の都市計画については、報告書や書籍での知識に頼っていましたが、今回の交流会を通じて、まさに、都市計画の現場の生きた議論に触れることができ、とても有意義な時間となりました。具体的には、立地適正化計画を議論させて頂くことが多かったのですが、国土交通省が考えている制度にこめた期待や運用実態、東京都市圏外からの参加者の方々や、地方での業務経験のある方々からの、地方都市の抱える課題を共有いただき



ました。

終了後の懇親会で、仕事を超えたお話をできたことも、貴重な思い出となりました。ありがとうございます。

株式会社アルメック VPI 金子 素子

昨年まで区画整理の現場に近い部署に携わっており、正直のところ自分で大丈夫なのか不安な気持ちもありました。

しかし実際に皆さんとお話してみると、同様の思いを胸に課題解決へ向けて取り組まれている様子を伺い知ることができ、また有意義な議論を進めることができました。この経験は、今後活かされるものと感じています。

参加者の皆さま、スタッフの皆さま、本当にありがとうございました。今後とも、よろしくお願い致します。

日本測地設計株式会社 佐藤 隆行

平成 28 年度に続き 2 回目の参加となりましたが、グループに分かれての意見交換は話しやすい雰囲気、より活発に意見が出るようになったと思います。日々の業務での悩みから、これからの都市計画やコンサルはどうあるべきかという大きなテーマまで、参加者の違った視点からの意見に触れてとても刺激になりました。この機会にできた人脈を大事にしていきたいと思えます。

事務局の方々やご参加のみなさま、ありがとうございました。

八千代エンジニアリング株式会社 篠崎 弘晋

■「なるほど」の連続でした

様々なバックグラウンドをもつ方々の集まりですが、まちづくりへの前向きな姿勢や目指すところには共通する部分も多く、意見交換は大きな刺激になり非常に有意義な時間を過ごすことができました。業務関係なく、受注者・発注者の垣根を越えて共通のテーマに対して本音で議論ができたと感じています。同時に、まちづくりの理想と現実をどうすり合わせるか、技術者として、一市民として、今後自分には何ができるのかを考えるよい機会となりました。ありがとうございました。

株式会社福山コンサルタント 末成 浩嗣



打ち上げの様子



最新技術や働き方、これからの都市計画のあり方といった多岐にわたるテーマについて意見交換を行いました。このような場にいらっしゃる方はやはり面白い人が多く、風呂敷を広げに広げた、刺激に溢れる会だったと振り返ります。

このような機会があまり無い私にとって、社外の同じ立場の方々と日ごろ思っていることや考えていることを話し合えたことは、大変貴重な経験となりました。

この度は、ありがとうございました。

株式会社パスコ 高木 顕一郎

■都市計画に係わるコンサルタントの皆さんにぜひ参加してほしい

交流会では、皆さんと都市計画の課題や展望などについて意見交換させて頂き、大変、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

大きなテーマについての意見交換でしたので、深い議論とまではいきませんでした。様々な視点から、ざっくばらんな意見交換ができ、大変充実したものでした。さらにテーマを絞り込んで、踏み込んだ議論もしてみたいと感じました。

最後に、事務局及びに参加者の皆さん、本当にありがとうございました。今後も機会がございましたら、よろしくお願い致します。

株式会社ウエスコ 津田 勝啓

■視野が広がり、未来を考えるきっかけとなった

ここ数年、働き方や新しい技術、社会や仕事のアプローチ等、時代潮流の変化を感じながらも、目の前の業務が優先となり、漠然とした不安を抱えていました。交流会では実務上のこともさることながら、都市計画分野やコンサルタント業界の今後のあり方も議論テーマのひとつとし、立場や専門は異なるものの前向きな議論に勇気づけられました。この交流会で得たヨコのつながりをこれからも大切に、またこのメンバーで語り合いたいと思います。事務局・参加者のみなさま、ありがとうございました！

株式会社URリンケージ 中野 真由美

■本音ベースで意見交換できる交流会だと思います。

国土交通省も含めて様々な立場の方と意見交換でき、新たに気づかされることも多く、いい刺激を受ける事ができました。都市計画やまちづくりといった技術的内容に加えて、最近の働き方改革なども織り交ぜながら、多角的な視点から議論できた大変有意義な交流会であったと思います。この交流会に少しでも興味を持った中堅・若手の技術者のみなさん、迷ったら是非とも参加してみてください。最後に、このような機会をいただきありがとうございました。

パシフィックコンサルタンツ株式会社 山本 崇裕



令和2年度は開催を見送ります！

今年度はコロナ禍の状況が見越せないこともあり、開催は見送ることにしました。来年度の再開をお待ちいただけたらと思います。また、来年度以降については、新しい生活様式にも配慮した開催を模索していきたいと考えています。

来年度の参加募集は令和3年の7月頃になります。詳細が決まり次第、協会ホームページ (<http://www.toshicon.or.jp/>) などでお知らせします。それまで、意見交換したい内容を温めておいてください。

協会レビュー 2020年第1号（令和2年9月発行）

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目二番一八号 ハイツニュー平河3F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp

Website <http://www.toshicon.or.jp/> 編集責任者 須永和久